



連合は「働くことを軸とする安心社会」の実現として、年齢や性、国籍の違い、障がいの有無などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会をめざしております。

「ジェンダー平等」の取り組みでは、世界の潮流である「203050」を意識し、「2030年までにジェンダー平等社会の実現」に向け、2024年9月までを「フェーズ1」の期間とし、「職場・社会におけるジェンダー平等の推進」を掲げ、達成目標と推進目標を設定するとともに、差別禁止やハラスメント防止等の取り組みを行っています。

連合北海道は女性の意思決定過程への参画を促進し、その影響評価を行いながら政策等に反映していく「ジェンダー主流化」を推進していくこととしております。

日本労働組合総連合会 北海道連合会 会長 須間 等

ジェンダー平等推進計画

パンフレットはこちら→ 

合言葉は
Change!
Challenge!
Movement!

2030年までにあらゆる意思決定過程における女性参画率を50%に引き上げる世界基準「203050」を見据え、労働組合は執行委員の女性割合をまずは30%にすることを目標としています。

2020.10 ~2021.9	2021.10 ~2024.9	2024.10 ~2030.9	2030
「第4次男女平等参画推進計画」 プラス	ジェンダー平等推進計画		世界の潮流は 「203050」
	フェーズ1	フェーズ2	ジェンダー 平等社会の 実現!

連合の組織について

- 「連合」は1989年に結成された、日本最大の労働組合のナショナル・センター（全国中央組織）で現在700万人の組合員で構成されています。
- 「連合北海道」は1990年に結成された、連合のローカル・センター（地方組織）で現在24万の組合員で構成されています。
- すべての働く人たちのために、雇用とくらしを守る取り組みを進めています。



さらなる変革 (Change) と
挑戦 (Challenge) で
社会の大きなうねり (Movement) を
つくっていきましょう!